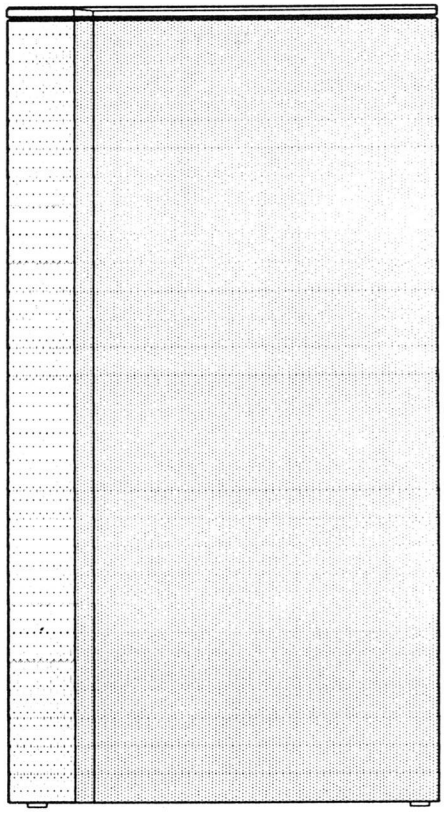
JBL

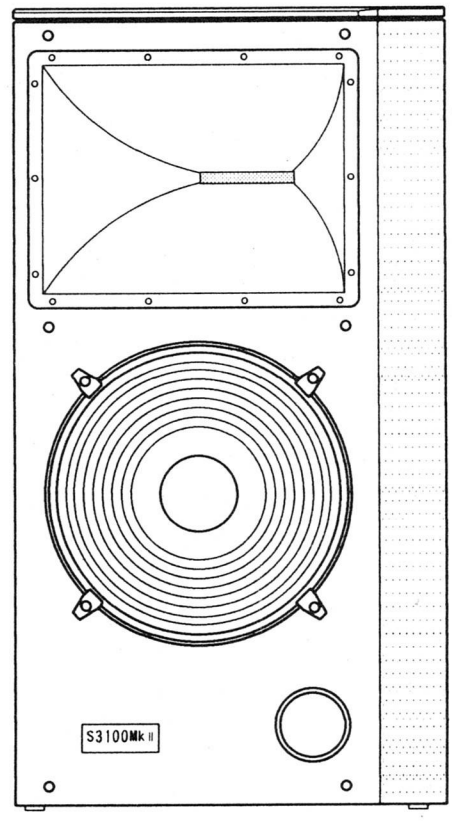
S3100MkII

LOUDSPEAKER SYSTEM

取り扱い説明書



S３１００MkⅡL
（左チャンネル用/グリルを取り付けた状態）



S３１００MkⅡR
（右チャンネル用/グリルを取り外した状態）

harman international
ハーマンインターナショナル 株式会社

１．はじめに

このたびは、ＪＢＬフロアタイプ・スピーカーシステム“Ｓ３１００ＭｋⅡ”をお買い上げいただきありがとうございます。Ｓ３１００ＭｋⅡは、銘器と呼ばれる数多くの家庭用スピーカーシステムを世に送り出して来たＪＢＬの長年の経験と持てる限りのテクノロジーを結集したフロアタイプ・スピーカーの傑作です。ご使用前に必ず本説明書をお読みいただき、正しい操作で末永くご愛用ください。

２．Ｓ３１００ＭｋⅡの特徴

Ｓ３１００ＭｋⅡは、ステレオフォニック・イメージの再現に重要性を置いて設計されています。ここには、先駆者であるＪＢＬのプロジェクト・エベレスト“ＤＤ５５０００”に用いられた先進技術が取り入れられ、広いリスニング・エリアに渡って正確なステレオ音場を再生することを可能にしています。また、高域ユニットに高性能コンプレッション・ドライバーを搭載することにより、極めて歪みの少ない高品質な音楽再生を可能にしています。

●広く正確なステレオ音場

従来のスピーカー・システムでは、システムから等距離に位置するリスナーには正確なステレオ・イメージを提供できますが、リスナーが軸外に移動すると、ステレオ・イメージはリスナーに近い側のスピーカーの方へ片寄ります。これは、近くにあるスピーカー・システムからの音の方が大きく、またリスナーの耳により早く到達するためです。したがってサウンド・ステージも近い方のスピーカーへ片寄ることになります。

一般的なホーンは、左右対称のカバー・パターンを示しますが、Ｓ３１００ＭｋⅡの新型ホーンは、システムの真正面よりも内側に強い音波を放射する独自の指向性パターンを持っています。このため、中心軸外のリスナーは近くにあるスピーカーよりも遠くにあるスピーカーの強い音圧のカバーエリアに位置し、距離の不一致による音の大きさの違いが補正されます。

●その他の技術データ

非常に優れたステレオ・イメージングの他に、Ｓ３１００ＭｋⅡにはＪＢＬ伝統の職人芸ともいえる高い加工技術と最高の音響素材が使用されています。新設計の低域ユニットには、なめらかな周波数特性を獲得するためにＪＢＬ独自のアクアプラス・コーティングをコーン紙とエッジ部に施しています。フレームは充分な強度を持つアルミダイキャスト製で、磁気構造には現在最高の直線性を誇るＪＢＬ独自の強力磁気回路が搭載されています。

高域用ドライバーには強力な磁力を誇るネオジュームマグネットを採用。チタニュームのダイアフラムを使用してすばらしい高域の伸びを実現しています。エンクロージャーには２５ｍｍもの厚さのＭＤＦ材を用い、充分な補強を加えてダンピング効果を上げています。

●ＡＶシステムへの応用

Ｓ３１００ＭｋⅡに採用された独特の形状のホーンが提供する広いサービスエリアは、リスニングポイントに縛られずリラックスした姿勢で音楽に浸れることを約束します。また、複数のリスナーに正確なステレオイメージを提供できることから、家族や友人を集めてのホームシアター鑑賞などに最適なスピーカーシステムです。

なお、Ｓ３１００ＭｋⅡは防磁構造は取られておりません。映像との併用にはフロントプロジェクター式の映像機器をご使用ください。

３．開梱にあたって

梱包の中には、Ｓ３１００ＭｋⅡ本体と共にグリルが梱包されていますのでご確認ください。

外観、機能共に完全な状態でお届けされたことと存じます。万一損傷や故障が認められた場合には、直ちにお買い上げ店にご連絡ください。

オリジナル・カートンボックスは、緩衝材等を含め開梱後もそのままお手元に保存くださるようお勧めします。修理などのため本体を輸送されるような場合、オリジナル・カートンボックス以外のもので行った不完全な梱包により損傷が生じても、責任を負いかねますのでご注意ください。

４．設置について

Ｓ３１００ＭｋⅡは、発熱量の多いパワーアンプやストーブの近く、湿気やホコリの多い場所、直射日光の当たる所などを避け、堅いしっかりした床の上に設置してください。

●セッティングと調整

明瞭な仮想センター・イメージを持つ録音ソース（ソロ・ボーカルなどのソースが最適です）を使ってセットアップを開始してください。左右のスピーカーから同距離の中央にポジションを取った時、明確なセンター・イメージが得られるようリスニング・ポジションとスピーカーとの距離、および左右のスピーカーの間隔を調整してください。

部屋の構造や家具などの影響でセンター定位が左右にずれる場合には、この時点でアンプのバランス調節で補正を行ってください。

次に、リスニング・ポジションを左右方向に移して音像が明確なセンター・イメージとして変わらないことを確認します。

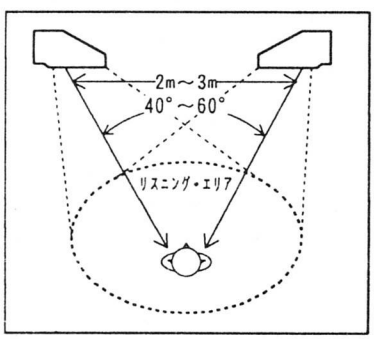
Ｓ３１００ＭｋⅡは、左右のスピーカーとリスナーとをつなぐ直線の内角が４０度～６０度の場合、最も正確なステレオ・サウンド・ステージが再生できるよう設計されています。一般的なリスニング・ルームにおける左右のスピーカーの間隔は、２～３ｍが適切です。ただし、バッフルが背後の壁と平行になるようスピーカーを設置した状態を前提とします。

両スピーカーの間隔がリスナーとスピーカーとの距離に対して必要以上に広い場合には、センター・イメージが希薄になるのを防ぐために２台のスピーカーを少し内側に向け（５～１０度）しっかりしたステレオ・イメージを確保してください。

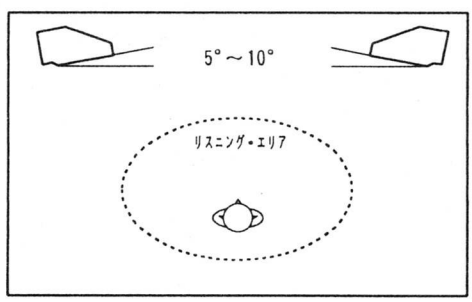
また、両スピーカーの間隔に対してリスナーとスピーカーとの距離が遠い場合には、２本のスピーカーを少し外側に向けることにより広がりのあるステレオ音場が得られます。

Ｓ３１００ＭｋⅡの音響特性は、システムの独特な構造により壁からの反射音が最低に抑えられるよう充分コントロールされているため、スピーカーを部屋のコーナーへ設置することも可能です。好みに応じて最適なポジションを決定してください。

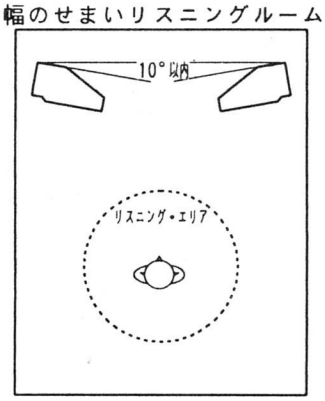
一般的なリスニングルーム



幅の広いリスニングルーム



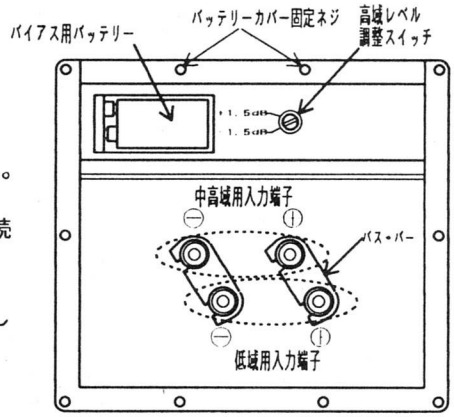
幅のせまいリスニングルーム



５．接続について

Ｓ３１００ＭｋⅡの２組の入力端子は、バイワイヤリング接続、バイアンプ駆動に対応します。以下の説明に従い、それぞれに合った接続方法を行ってください。

4425MkⅡ入力端子



Ⅰ．1組のスピーカーケーブルによるシングルワイヤー接続

付属のバスバーを取り付けたまま、上下どちらかの端子に接続します。

Ⅱ．2組のスピーカーケーブルを使用したバイワイヤー接続

バスバーを取り外し、高域用/低域用ケーブルをそれぞれの端子に接続します。

Ⅲ．2組のパワーアンプを使用したバイアンプ駆動

バスバーを取り外し、高域用/低域用アンプをそれぞれの端子に接続します。ご使用になるパワーアンプは定格出力が同じである必要はありませんが、ゲイン（アンプの増幅率，利得）が同じもの、または入力調整により同一ゲインに設定したものをご使用ください。

※Ｓ３１００ＭｋⅡの入力端子は、赤いリングの取り付けられた端子が⊕、黒いリングが取り付られた端子が⊖に統一されています。極性を間違えないよう確実に接続してください。また、スピーカーケーブルを接続する際、ケーブルの導線がバス・バーに触れてショートしないよう、十分ご注意ください。安全、確実に接続するため、バナナプラグの使用をお勧めします。

※本機のネットワーク回路には、バッテリーによりバイアス電圧を加えることで、デリケートな小信号時の歪みを取り除き、リニアリティーを高めるチャージカップル式ネットワークを採用しています。バイアス用バッテリーの寿命はおよそ２年です。バッテリーの電圧が低下しても、ネットワークとしての機能には支障はありませんが、定期的に交換されることをお勧めします。バッテリー交換の際は、同規格の製品（9V角形 006P乾電池）を使用し、電池の⊕⊖の極性に注意して交換してください。また、製品に組み込まれているバッテリーは機能テスト用ですので、早めに交換されることをお勧めします。

６．高域レベルの調整

Ｓ３１００ＭｋⅡは、ウーファーに対する中高域のレベルを調整できるレベルコントロールスイッチを装備しています。つまみの０ｄＢのポジションは、響きのない実験室内におけるフラットレベルのポジションを示します。実際にご使用になる部屋の響きや好みに合わせてレベルを調整してください。
一般にスピーカーは、使用開始後１～２ヶ月の間にユニットの振動系がこなれて、レベル、音質が安定してきます。この間、使用時間の経過とともにレベルバランスが変化しますので、レベルの変化に伴い再度調整することをお勧めします。

７．保守

●お手入れの際には、毛先の柔らかいハケなどを使用し、キャビネット表面を掃くようにしてホコリを取り除いてください。布やクリーニング・ペーパーなどを使用すると、微細な繊維がキャビネット表面に残ることがあります。ベンジン、シンナー、アルコールなどの揮発性の液体で拭いたり、近くで殺虫剤を散布したりしないでください。

●グリルネットに埃などが付着した場合は、電気掃除機を使用して埃を吸い取ってください。その際、強く吸い過ぎないよう掃除機の強さを調整してください。また、グリルを水洗いしないでください。グリルに色むらやたるみが発生する場合があります。

※スピーカーシステムは耐久消費財です。特に、コーン紙の激しい動きを支えるウーファーのエッジ部には多くのストレスがかかるため、その実用対応年数には限りがあります。また、温度、湿度、紫外線などの影響で寿命を縮める恐れがありますので、照明器具の強い光りや直射日光を避け、エアコンの吹き出し口やストーブなどの近くを避けてご使用ください。

８．規格

使用ユニット　ホーン	Ｈ２６００-１
ＨＦドライバー	２７５Ｎｄ
ウーファー	ＭＥ１５０ＨＳ
周波数特性(-6dB)	３０Ｈｚ～２０ｋＨｚ
クロスオーバー周波数	７５０Ｈｚ
許容入力	２００Ｗ
能率(2.83V/m)	９５ｄＢ
公称入力インピーダンス	８Ω
寸法(幅×高さ×奥行き)	５６１×１１０２×４０６㎜
重量	６３．５ｋｇ

harman international
ハーマンインターナショナル株式会社
製品に関するお問い合わせは、弊社企画部 ☎03-3836-5660まで

98.11.16

東京サービスセンター：〒135-0033 東京都江東区深川1-6-29　結城運輸倉庫(株)内 ☎ 03（5639）3011
本社営業部：〒110-0005 東京都台東区上野5-7-7　公徳堂ビル ☎ 03（3836）5641
大阪営業所：〒532-0011 大阪市淀川区西中島5-12-15　双葉ビル702号 ☎ 06（ 301）1396
福岡営業所：〒816-0844 福岡県春日市大字上白水418-4　第２金信コーポ１Ｆ ☎ 092（ 573）2023

https://e-staff-net.com/